

稲作緊急特報

令和4年8月10日

黒 部 市
黒部市農業技術会議



本年は水田内の斑点米カメムシ類の発生数が平年より多く、8月4日に注意報第1号が発令されました。今後も厳しい残暑が続く、斑点米カメムシ類の発生や活動に好適な状態が続くと予想されることから、斑点米被害の増加が懸念されます。

1 追加防除について

「コシヒカリ」や「てんこもり」などの中・晩生品種について、中山間地域・常発地や前年産に被害がみられた地域などでは、「追加防除」を行いましょう。

【追加防除の目安】

時期	剤型	使用農薬	散布量/10a	使用基準 (収穫前日数)
傾穂期防除 (2回目)から 7日～10日後	粉剤	トレボン粉剤 DL	4 kg	7日前まで
	液剤	スタークル液剤 10	1,000 倍液 100 ㍓	7日前まで

- ・ 散布時期の間隔は、10日以上空けないようにしましょう。
- ・ 使用基準（収穫前日数）を厳守のうえ、散布しましょう。
- ・ 畦畔雑草にも薬剤がかかるように散布しましょう。
- ・ 風向きや風速、散布量などに注意し、周辺の作物への飛散防止に努めましょう。
- ・ 防除作業を委託される場合は至急 JA くらべ各営農支援センターまでお問い合わせ下さい。

「黒部米」の品質を守りましょう！！

2 出穂後の水管理

稲の活力維持と品質向上、カドミウム吸収抑制のため、出穂期から20日間は田面が出ないよう、「湛水管理」を徹底しましょう。（乾田直播は収穫直前まで湛水管理を続ける）

【湛水方法】

- ・ 水深3cm程度に湛水し、田面が露出する前に再度入水する。
- ・ 水持ちが良くても1週間に1回は、新しい水を入水する。
- ・ 20日間を過ぎたら収穫の1週間前まで「間断かん水」を続ける。
(フェーン予報時は湛水する)

熱中症予防のため、こまめな水分補給と休憩を取り、体調管理に注意しましょう。